

こんなお悩みありませんか？

痛みを我慢して
家事や仕事をしている

ひざが痛くて歩けない

痛みで趣味をやめてしまった



その痛みの原因にアプローチ

整形外科の医師による新しい治療法

PDF-FD療法

※PDF-FD とは、Plasma Derived Factor -Freezedry の略称です。

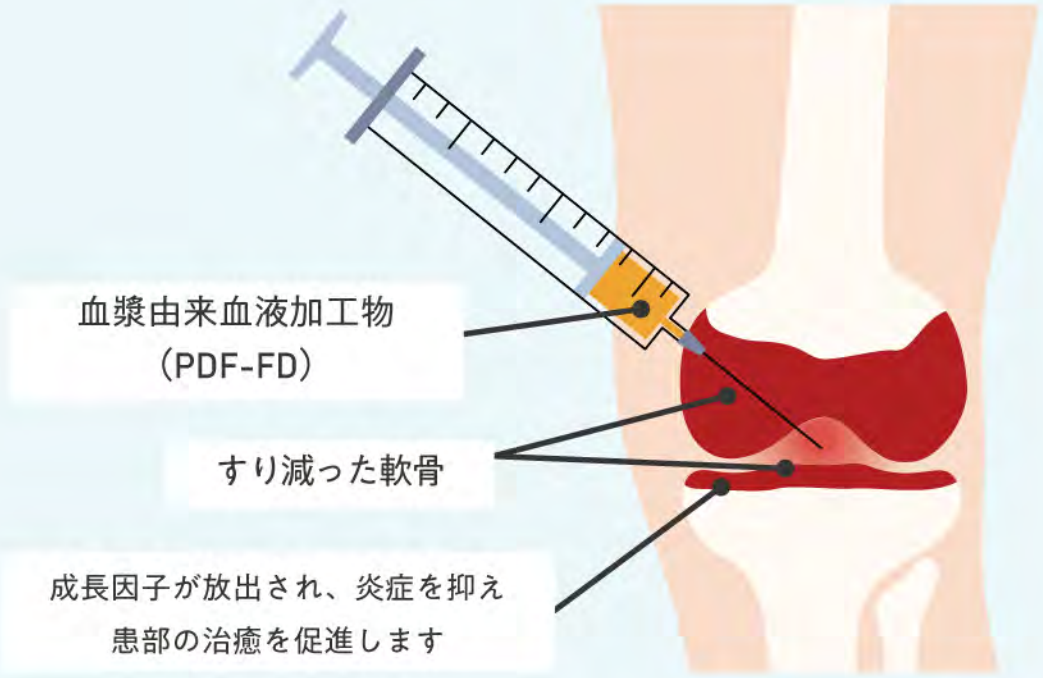
新しい治療法、PDF-FD 療法

今まではヒアルロン酸注射などで痛みを抑える『保存療法』か、関節を人工関節に置き換える『手術療法』しかありませんでした。しかし、2022年12月より血液の自己修復機能を使った『PDF-FD 療法』が登場。

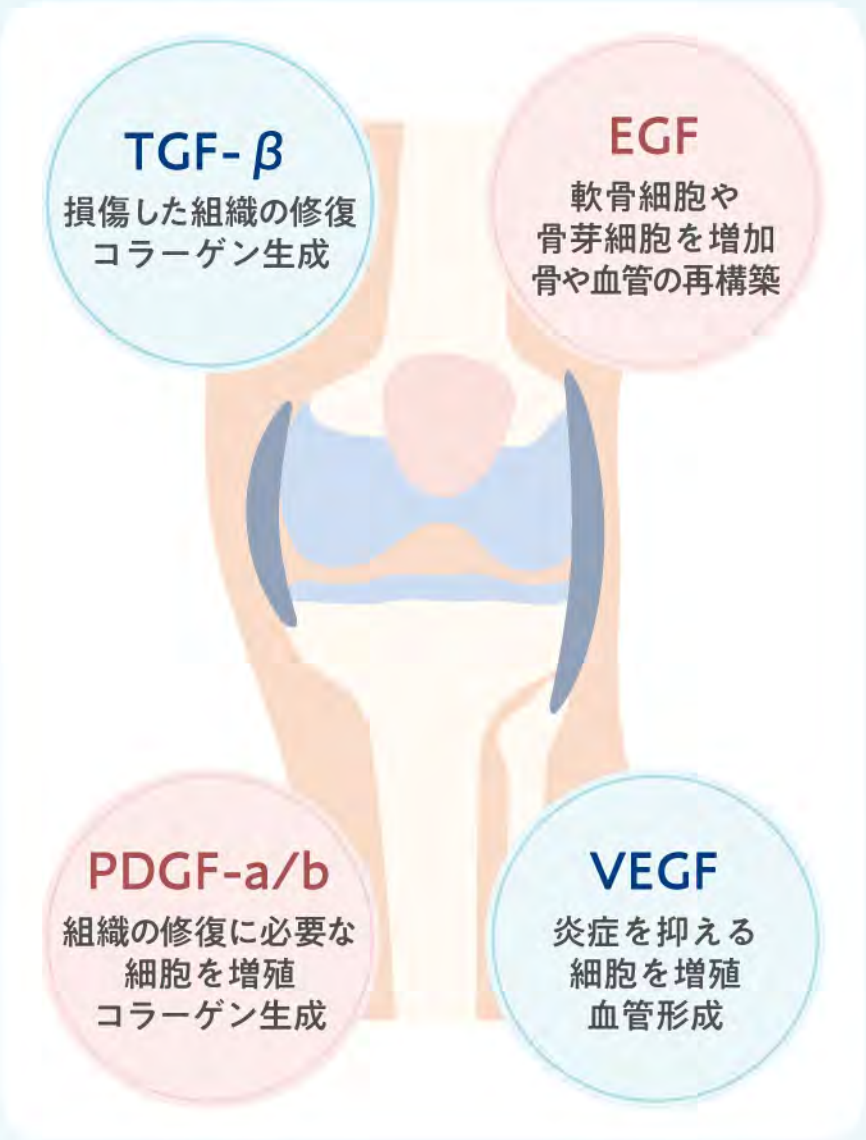


従来の治療法では望むような効果が得られなかった方、手術を受けるのに抵抗がある方、将来の痛みを予防したい方に対する、治療の可能性が広がりました。

成長因子の働き



成長因子とは、細胞の成長や増殖を促す様々なタンパク質の総称で、1 万以上もの種類があると言われています。患者様ご自身の血液から抽出した血漿にある成長因子により、炎症を抑える働きや患部の治癒を促進する働きなどが期待できます。



成長因子の３つの効果

1



炎症(腫れや痛み)を
抑える効果

2



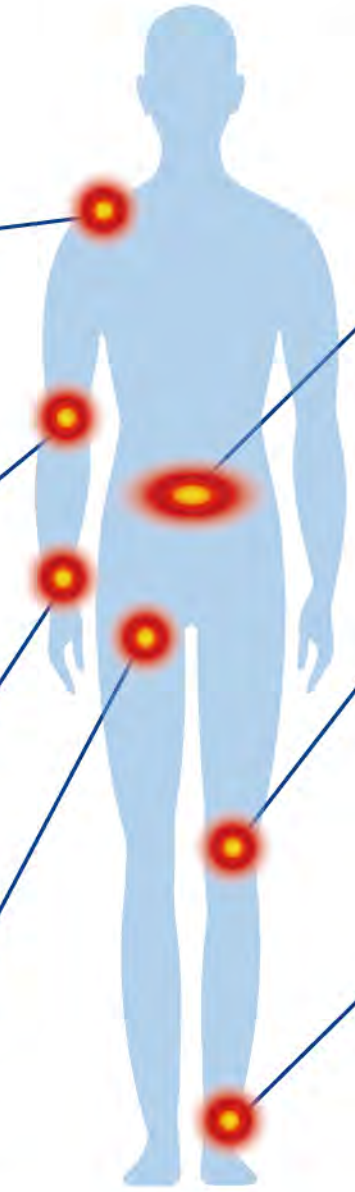
傷んだ組織の
修復効果

3



軟骨を保護、
悪化の予防の効果

PDF-FD 療法の報告例がある疾患



肩
肩腱板損傷　肩関節唇損傷
変形性肩関節症
四十肩　五十肩　凍結肩

肘
肘靭帯損傷
テニス肘　ゴルフ肘

手
腱鞘炎　手根管症候群
関節リウマチ　CM 関節症

股
変形性股関節症　股関節炎

腰
筋筋膜性腰痛症　椎間関節性腰痛
慢性腰痛　椎間板変性
多裂筋変性　仙腸関節炎

膝
変形性膝関節症　半月板損傷
膝靭帯損傷　鵞足炎　膝蓋靭帯炎
膝蓋腱炎　腸脛靭帯炎　膝蓋腱炎
（ランナー膝）（ジャンパー膝）

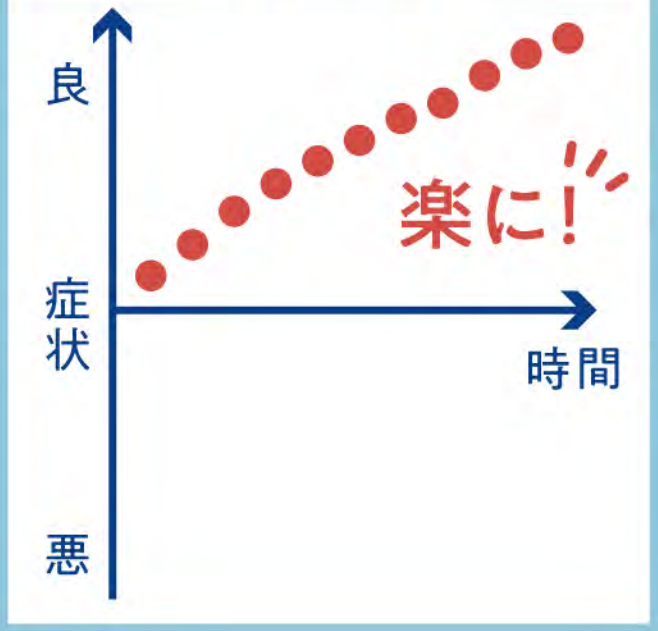
足
アキレス腱炎　足底筋膜炎
足関節捻挫　足底腱鞘炎

※症状等を予め医師にご相談の上、
治療は医師の診断等に従い行うようにしてください。

変形性関節症の治療例

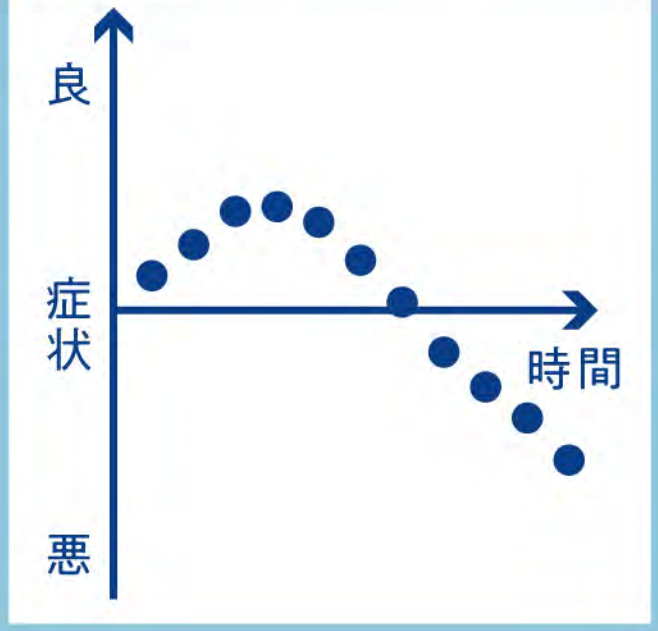
※一例であって効果を保証するものではございません。

PDF-FD 療法 +リハビリ



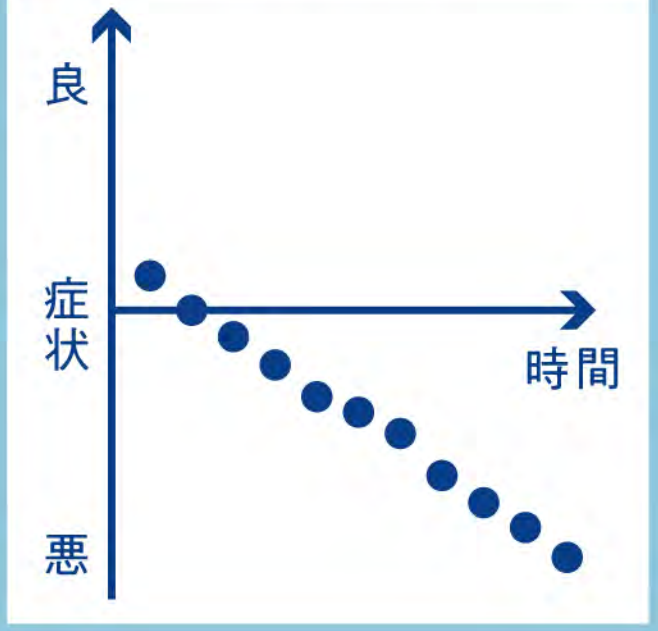
リハビリとの組み合わせで
長く良く効く

痛み止めの注射



一般的には良いが
徐々に悪くなる

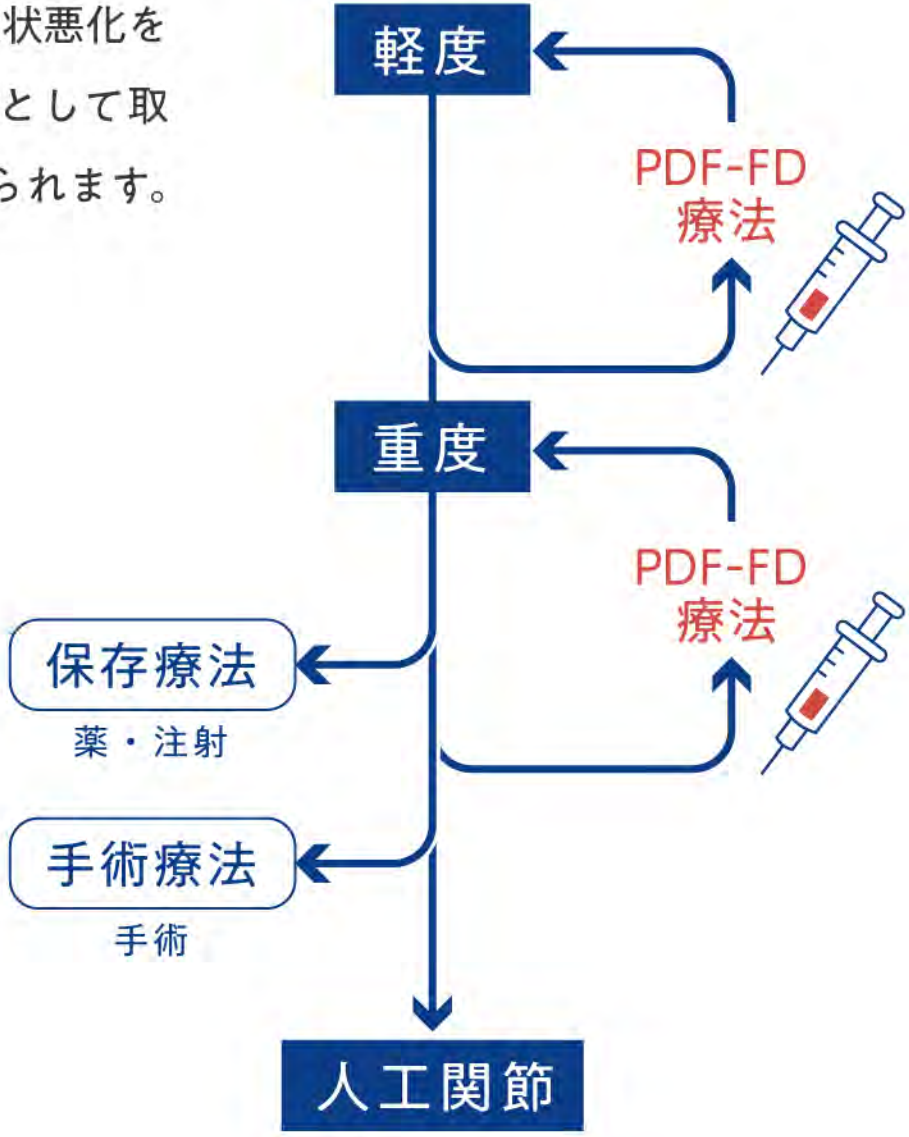
現状のまま



一般的に徐々に
悪くなっていく

予防や回復を目指す新しい治療法

『PDF-FD 療法』は回復が難しいとされているひざ・関節の症状悪化を食い止め、機能回復を目的とした治療方法です。また、予防として取り入れることで「ひざ・関節寿命」の延伸に繋がると考えられます。



PDF-FD療法の良い点

- 患者様ご自身の血液をもとにしているため、リスクと負担の少ない治療法です。
- 注射 1 本での治療の為、入院や手術は不要です。
- 40 代 ~90 代の方まで幅広くお使いいただけます。

患者様の実際の声

※一例であって効果を保証するものではございません。

また、あの痛みがって思うと将来が心配でしたが、気持ちが前向きになれました。



痛くて痛くて、何をするのも今まではつらくて困っていました。
当たり前のことが、あたりまえにできる幸せを改めて感じてます。



長く歩いても大丈夫になると、自信がでてきて外出が楽しくなりました。



やめていた、ゴルフをやっと再開できました！
毎日だって、楽しめるようになりました。



治療の流れ

Step1 ご来院

ご来院頂いた後、受付や看護師にお気軽にお申し付けください。



Step2 診察・検査・適性診断

当院にて医師の診察等を基に患部の状態を詳しく把握し、治療歴等を伺いながPDF-FD療法の適性を判断します。



Step3 採血

患者様の疾患・施術内容に応じて加工に必要な採血量をお取りします。



Step4 血液加工

提携加工施設にて2～3週間程度かけ、血液を加工します。



Step5 治療（注射）

医師が患部内に注射します。（※5~10分程度）
治療後は入院の必要はなく、そのままお帰り頂けます。



もっとよく分かる Q&A

Q この治療はいくらで受けられますか？

A 自由診療のため、ご提供価格はクリニックによって異なります。

担当医師、もしくは病院スタッフにご確認ください。

Q 保険適用や医療費控除の対象になりますか？

A 現状、保険適用ではございません。

現状、保険適用ではございませんが、医療費控除の対象となります。詳しくは、関係各所に必ずご確認ください。

Q 効果はどれくらい持続しますか？

A およそ１年で、長い方だと２年持続する方もいます。

効果には個人差があります。

Q 何歳でも受けられますか？

A 10～90代まで実施した事例がございます。

また、重度な症状の方でも実施した事例がございますので、まずは担当医師にご相談ください。

Q 持病がある場合でも受けられますか？

A がん治療中の方と人工関節部位はお控えください。

詳しくは担当医師にご相談ください。

注入後のご注意点

☐ 注入当日はアルコール摂取はお控えください。



☐ 注入当日はシャワーは問題ありませんが、
入浴はお控えください。

（注入部位は翌日から浴槽につけて頂いて問題ありません。）



☐ 注入部は清潔に保つよう心掛けてください。

